

大湾区情報 No. 30

グレーターベイエリア情報 発行：2022年3月1日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【広東省、大湾区にグローバル・トレード・デジタライゼーション・パイロットゾーンを構築】



2021年、「貿易高品質発展10大プロジェクト」に牽引され、広東省の対外貿易、対外投資、消費などの商業の3大指標はいずれも過去最高を記録し、そのうち輸出入は初めて8兆人民元を超え、対外投資の実際利用額は1,800億人民元を

超える見込みです。1月13日、2022年広東省商務工作テレビ電話会議が行われ、上記の内容が明らかになりました。

今年、広東省は、大湾区のグローバル・トレード・デジタライゼーション・パイロットゾーンの計画とスタートに注力し、珠江デルタ地域と広東省の東部・西部・北部地域への投資を増やし、補完的な投資を行い、「本部+基地」「研究開発+生産」「販売+倉庫保管」などの産業パターンの形成を促進し、全国に広がる商業及び貿易の流通センターの建設を推進し、商業及び貿易の流通の国内における大循環の架け橋としての役割を強化します。

外国貿易はパンデミックに反し過去最高を記録 越境 EC や市場調達の規模は 3,000 億人民元を超える見込み

世界の貿易がパンデミックで苦しむ中、広東省の対外貿易は多くの不利な要因の下で挑戦に立ち向かい、対外貿易の基盤を固めました。その背景には、中国の感染拡大の効果的な予防対策と制御により先んじて回復した経済による後押し、広東省の安定した対外貿易政策の保障能力、対外貿易企業の革新的な活力、産業チェーン、サプライチェーンの一体化能力により形成された相乗効果によるものであるといえます。

2021年以降、広東省は「10大プロジェクト」を始め、高品質な貿易発展を促進するために一連の政策の複数の措置を講じました。

①新しい貿易形態、モデルの急速な発展により対外貿易の発展に新たな勢いを与える

広東省は「越境 EC の高品質発展に関する 10 ヶ条」、「市場調達貿易の革新的な発展に関する 8 ヶ条」を打ち出し、7つの総合試験区が越境 EC のトライアル地点とされ、越境 EC と市場調達の年間規模は共に 3,000 億人民元を超えると予想されています。

②主要な貿易プラットフォームプロジェクトの新たな進展、構造転換と高度化を進め、強化する

広州南沙輸入モデルゾーンは、自動車貿易、航空機リース、コールドチェーン・ロジスティクスなど、6つの100億規模の輸入プラットフォームの建設を開始、揭東経済開発区は国家経済開発区に格上げされ、新たに6つの国家レベル対外貿易構造転換及び高度化基地が増加、最初の7つの省レベルの海外経済貿易協力区建設をサポートしています。

③海外貿易企業トップ100の強化を支援し、主要貿易企業の発展を安定させる

年間貿易企業上位100社の輸出入は広東省の3分の1以上を占めると予測されています。広東省は加工貿易における主要企業のうち第一陣の20社の育成を支援するために「加工貿易15条」を実施し、加工貿易の輸出入は年間で2.2兆人民元以上を超えると推定されています。

④通関の円滑化を加速させ、良質の高いビジネス環境を実現させる

データによると、広州と深圳のクロスボーダー貿易指標は全国のビジネス環境アセスメントにおいてそれぞれ第2位、第3位にランクインしており、輸出入全体の通関時間は前年比でそれぞれ23%、31%短縮され、国際貿易における「ワンストップサービス」の主要業務における活用率は100%に達すると予想されます。

⑤金融革新により、外国貿易発展に活力を与える

政策に基づく輸出信用保険の引き受け規模は1,000億米ドルを超え、「貿融易」サービスは対外貿易を行う中小企業に24億人民元の融資支援を行いました。

⑥サービス貿易の革新発展試行を全面深化、事業改革と革新を堅実に推進

広州と深圳のパイロットタスクは全面的に展開、111のパイロット改革タスクが実施されました。国際貿易の「ワンストップサービス」の構築を深化させ、累計通関書類は46億枚と、全国の51%を占めています。「澳車北上」システムによる広東省・マカオ間のクロスボーダー連合共同試運転を完了し、広東省ーマカオ間の貨物の「1書類で両地の通関手続き」が開始されました。汕尾港と揭陽港の拡張は国家検査に合格し、湛江港の拡張は国务院の承認を受け、マカオと珠海の新しい出入境ゲートである青茂口岸も無事オープンしました。

現在、対外貿易の発展は多くの不確定要素に直面していますが、広東省は今後どのようにして貿易の質の高い発展を促進するべきかという点に注目が集まっています。

「今年は高品質な貿易発展のための10大プロジェクトをさらに推進し、高品質貿易発展の新たなブレークスルーを推し進めます。」広東省商務庁の張勁松庁長は、大湾区におけるグローバル・トレード・デジタライゼーション・パイロットゾーンの計画・建設開始、越境ECモデル省の構築、競争力のある貿易先進企業クラスターの構築、また、広東省企業の国内外市場開拓を支援するために、「広東貿易グローバル」「広東貿易ナショナル」シリーズの経済及び貿易イベントを各100回を引き続き開催する予定と述べました。

内需を拡大し消費のアップグレードを促進 省内のオンライン小売売上高は3.3兆人民元に達する見込み

昨年、広東省は引き続き消費促進に力を入れ、「自動車消費フェスティバル」、「家520」、「食は広東にあり」、「123正月製品ショッピング」および歩行者天国（商店街）、ナイトエコノミー、老舗ブランドカーニバルなど7つのテーマ別セールス・プロモーション・イベントを実施しました。中古車の、省

をまたぐ登録行政政策実施により、中古車取引台数は **265.5** 万台と前年同期比 **14.4%**増となりました。

2021 年 11 月、広東省は「都市消費促進に関する若干の政策措置」を発表し、広州と深圳で自動車ナンバー取得の制限を段階的に緩和し、自動車消費を拡大させることを提案しました。広東省では最近、**2021** 年の自動車下取り買い替え特別キャンペーンを今年 **6 月 30** 日まで延長すると発表されました。

また、広東省では昨年、ライブ e コマースやスマート・ショップなどの新しい形の消費のスピーディーな発展を推進しており、今後全省で **320** 万件のさまざまなライブイベントが実施される見通しです。同時に「**2021** 年全国オンライン正月商品祭」、第 3 回「双品（品牌（ブランド）消費、品質消費）オンラインショッピング祭」を開催し、衣料品、デジタル製品、ビューティー製品などの **5** 大 e コマース産業のライブ拠点の開設を推進しました。同省のオンライン小売売上高は **3.3** 兆人民元に達し、**10%**以上増加し、全国 **1** 位になると予想されています。

また、昨年、広東省は農村における国家レベルの e コマースの総合的モデル県を **7** つ追加し、県レベルの大型 e コマースサービスセンターを **52** 箇所、e コマースサービス拠点を **6,000** 箇所以上設置し、トータルで延べ **30** 万人近くの関連人材を育成し、省の農村ネットワークにおける小売売上が **15%**以上増加の **630** 億人民元に達する見込みで、農村の活性化に大いに貢献することになりました。

今年も広東省は引き続き超大規模の人口とマーケットの潜在力を刺激し、国内の大循環を円滑にし、経済発展における消費の基本的な役割を高めていきます。中でも広東省は「都市消費促進 **26** 条」を実施し、深圳の東門歩行街の試験的リノベーションとグレードアップを推進し、省レベルのモデル歩行者天国（商店街）を新たに認定し、老舗ブランドの革新とグレードアップを促進し、多くの夜間消費クラスタエリアを創設するとしています。

また、広東省では、農村の消費を活性化するため、農村商業貿易センターや鎮（町）市場の改修・整備を行う予定です。また、全国に広がる多数の商業貿易物流センターの建設を推進し、有力なサプライチェーン企業の育成を支援し、農産物のコールドチェーン基礎設備の建設を完了し、商業貿易流通における国内大循環の架け橋役としての役割を強化します。

【香港証券取引所と深圳証券取引所が戦略的協力追加合意書を締結 「跨境理財通」は開設約2ヶ月で約5億人民元呼び込む】



香港証券取引所（香港取引所）は1月12日、深圳証券取引所（深圳取引所）と、両地域間の市場接続を強化し、大湾区の建設を共同で推進するための戦略的協力追加合意書に署名したと発表されました。

この追加合意書に基づき、香港取引所と深圳取引所は、香港と中国本土の資本市場の相乗的発展をさらに促進するため、より緊密な全面的パートナーシップを

確立していきます。両取引所は、滬港通・深港通（上海香港コネクト・深圳香港コネクト）の発展、指数・デリバティブ商品の発展、クロスボーダー規制の管理監督に関連するテーマについて、フォーラム、セミナー、その他の市場促進活動を定期的に共同開催します。

同日、香港取引所と深圳取引所は「革新と協力、世界をつなぐ」をテーマにクロスボーダー投資促進会議を共同で開催しました。会議では、香港取引所グループ最高経営責任者のニコラス・アグジン(Nicolas Aguzin)氏が、香港と深圳はともに世界有数の金融センターであり、域内の金融市場の発展を促進する上で重要な役割を担っているとオンラインで述べました。

ニコラス氏は「大湾区は、経済発展と技術革新の苗床であり、香港取引所は、大湾区に明るい未来を築くために、深圳取引所との戦略的パートナーシップを強化することができて、喜ばしく思っており、今後も深圳取引所と協力して、深圳コネクトの仕組みを最適化し、さらなる成功を収められることを期待しています」と述べました。

また、協力協定に基づき、香港取引所と深圳取引所は、相互の市場発展や運営の状況に関する理解をさらに深めるため、相互のスタッフ交流や短期研修における協力を行う予定です。

香港取引所と深圳取引所は、長期にわたり様々な分野で良好な関係を築いてきており、その最たるものが2016年に両取引所が共同で立ち上げた「深圳・香港ストック・コネクト」です。両者は2009年4月に協力協定を締結しており、今回締結された追加合意書はそれを補完するものとなります。

昨年10月には、待望の「跨境理財通」（クロスボーダー・ウェルスマネジメント・コネクト）が正式にスタートし、大湾区の住民がグローバルな資産配分を身近に実現できるだけでなく、大湾区の多機能・多レベルの金融市場の発展にも新たなチャンスをもたらしています。現在、跨境理財通は順調に稼働しており、中国人民銀行広州支店のデータによると、2021年12月末時点で大湾区で跨

境理財通の下で合計 5,855 件、総額 4.86 億人民元の取引が行われたことが示されています。このうち、「北向通」（ノースバウンド）取引は 3,802 件、1 億 9600 万人民元、「南向通」（サウスバウンド）取引は 2,053 件、2 億 9000 万人民元でした。

跨境理財通は、大湾区の居住者がより多様化された資産配分を実現するために、大いに役立っています。調査によると、サウスバウンド投資家に最も人気のある商品は各種ファンドで、次いで香港ドル預金、債券、その他外貨預金となっています。ノースバウンドの投資家は、株式類金融商品、債券類金融商品、公募ファンドを好み、特に急成長中のテクノロジー、エネルギー、バイオケミカル分野など新興企業の金融商品に興味を持っています。

現在、「跨境理財通」は、広州市において現代的金融サービスシステムを構築し、国際消費センター都市の建設を促進し、効果的な投資空間を広げ、より素晴らしい生活を創造するための新しいツールになっています。「大湾区の住民が、ファミリーの資産をより柔軟に配分し、より良い生活を求める願望を満たすのに資するものです。」と中国人民銀行広州支店の関係者は語りました。広東省、香港、マカオの三地の金融機関の業務拡大や協力関係の深化にも貢献し、大湾区の金融インフラの「ハードコネクト」とルールやメカニズムの「ソフトコネクト」の促進により、金融市場の相互接続をさらに促進するための基盤が整うこととなります。

中国人民銀行広州支店は、広東省、香港、マカオの三地にはそれぞれ特殊性があり、管理監督政策、金融市場の特徴、投資家の取引上の習慣がそれぞれ異なり、馴染むまで時間がかかると言及しました。次のステップとしては、引き続き政策広報や投資家教育を強化し、投資家が自身のリスク許容度に見合った商品に投資できるよう誘導していきます。また、大湾区居住者への政策への親しみやすさと満足感を高めるため、跨境理財通サービスのさらなる円滑化を推進します。

【参考資料】

- ・ [広東省、大湾区にグローバル・トレード・デジタルイゼーション・パイロットゾーンを構築](#)
- ・ [香港証券取引所と深圳証券取引所が戦略的協力追加合意書を締結](#)
- ・ [「跨境理財通」は開設約 2 ヶ月で約 5 億人民元呼び込む](#)